

第3回 全学フォーラム 総合的道德教育 プログラム

各学校、地域と大学全体で考える
これからの心の教育のかたち

平成24年2月16日(木)～17日(金)

2月16日(木)

- 13:00-14:00 全学フォーラム開催セレモニー (N410教室)
- 14:00-16:30 ワーキング成果発表会 (N棟各教室)

2月17日(金)

- 10:00-12:00 道德教育に関する教員調査結果報告会 (N410教室)
- 13:00-16:30 体験学習連携研究協力校発表会 (N410教室)

本フォーラムの開催にあたって

自尊感情や人間関係形成力の低下など、子どもたちの心の問題が指摘されています。そのような中、各学校・家庭や地域社会との連携を深め、心豊かな土壌をつくるとともに、その充実を図るための教育システムを構築することが、今の私たちに強く求められています。

本学が平成21年度より特別経費により進める『総合的道德教育プログラム』の開発の研究は、そのような願いのもとに進められています。

現在、本プログラムでは、①「道德教育の推進教員養成プロジェクト」②「魅力ある道德教育教材開発プロジェクト」③「道德教育のための体験学習プロジェクト」の3つのプロジェクトが進行しています。平成21年度、22年度には、それぞれの年度末に全学フォーラムを開催し、多数の方のご参加を得ることができました。

3年目となる本年度は、学内で進める28のワーキングおよび近隣三市の連携研究協力校6校より取り組みの成果を発表していただきます。そして、心を育てる教育の一層の充実と、本プログラムの推進についての課題や展望を探りたいと考えています。

ご多用の時期とは存じますが、是非とも多くの方のご参加をお待ちしております。

総合的道德教育プログラム推進本部長 佐藤 郡衛



2月16日(木) フォーラムの流れ

13:00 全学フォーラム開催セレモニー (本学N410教室)

司会：佐藤 郡衛 (本学副学長・推進本部長)

● 挨拶

村松 泰子 (本学学長)

● 趣旨説明・講師紹介

● 記念講話 「社会の変化と、今、求められる心の教育」

藤永 芳純 (大阪教育大学名誉教授)

子どもの心の問題とその要因、心を豊かに育てる教育の在り方や方向性、教育活動の全体で進める道德教育の意義などについて講話をいただきます。

14:00 ワーキング成果発表会 (本学N棟・各教室)

本プログラムの「魅力ある道德教育教材開発プロジェクト」(第2プロジェクト)では、18のワーキングチームの中で、学校の教育活動全体に生かすことができる魅力ある道德教育教材を、様々な形で開発してまいりました。また、「道德教育のための体験学習プロジェクト」(第3プロジェクト)において、10のワーキングチームの中で、子どもの豊かな心を育てる体験学習プログラムを開発してまいりました。

それらの開発の成果をワークショップ形式で発表します。

※各ワーキングの発表内容は右ページ参照

16:30 成果発表会終了

17:00 ワーキング情報交換会

発表する28のワーキング一覧

2月16日(木) 14:00~16:30

教室 No	プロジェクトの種類	開発する教材・プログラム名	対象とする学校種	主に対象とする教科・領域	代表者	
N棟4階	401	教材	児童・生徒の主体的な学習を支援する 情報モラル・情報セキュリティ教育のためのeラーニング教材とシステムの開発	小・中・高	学活・総合・道徳・ 技術・情報	森本 康彦 (情報処理センター)
	402	教材	地域の特徴ある自然環境を活かした自然にかかわる心の育成 ー武蔵野台地の自然・島嶼の自然 (琉球・奄美)	小・中	理科・総合	高橋 修 (宇宙地球科学)
	403	体験	特別支援学校における自然および仲間との積極的な関わりの中で 個の成長を育む自然体験活動のプログラム開発 ～主に農作業の事例調査に基づいて～	特別支援	学校行事・総合	小森 伸一 (体育学)
	404	教材	しなやかな道徳性を育てる思春期・青年期の児童生徒向け映像教材	小・中・高	道徳・学活・倫理	松尾 直博 (臨床心理学)
		教材	学級集団におけるよりよい人間関係を育むための、 児童による視覚的な教材の開発	小	道徳・特活・総合	金田 知之 (附属竹早小学校)
	405	教材	社会科地理的分野の特性をいかした 中学校・道徳教育の教材ならびにプログラム開発	中	道徳・社会	椿 真智子 (地理学)
	407	教材	親の学習教材作成を通した学生の総合的道徳教育の学び	幼	啓発研修	岩立 京子 (幼児教育学)
411	体験	心の教育のカリキュラムと実践ー伝統音楽の教材開発プロジェクト	小	音楽・国語・道徳	筒石 賢昭 (音楽科教育学)	
N棟3階	301	体験	「心の芯」を耕す環境教育の体験学習プログラム	小	生活・特活・総合・ 道徳	原子 栄一郎 (環境教育研究センター)
	302	教材	大気中の電場観測を通して地球の環境問題を知る ～問題の解決と思いやりの心	高	物理	鴨川 仁 (物理科学)
	303	教材	小・中・高を見通した伝統的な言語文化教材	小・中・高	国語	石井 正己 (日本語学・日本文学)
	304	教材	現代に生きるアンネ・フランク ー異文化理解と偏見を学ぶー	中・高	社会・英語・総合・ 道徳	吉谷 武志 (国際教育センター)
	305	体験	集団や社会との関わりに関する体験学習プログラム (道徳・学級活動)	小	学級活動・道徳	杉森 伸吉 (学校心理学)
N棟2階	201	教材	国際理解のための教材開発 ー留学生を通して知る世界のことばと文化ー	小	総合	谷部 弘子 (留学生センター)
	202	教材	多文化社会における公正な社会的判断力育成のための社会科教材の開発	小・中・高	社会	川崎 誠司 (社会科教育学)
	203	教材	自然への感動を育む漢詩教材	中・高	国語	高橋 忠彦 (中国古典学)
	204	教材	家庭科における命を題材とした視聴覚教材の開発	小・中・高 特別支援	家庭	小野 恭子 (附属大泉小学校)
	205	教材	自己の生き方を考える道徳資料集	小・中 特別支援	道徳	和井内 良樹 (附属小金井小学校)
	206	体験	愛国心及び国際理解・親善に重点をおき、系統的に児童の心を育てる体験学習プログラム の開発	小	道徳・社会・ 生活・総合	森下 準司 (附属大泉小学校)
		体験	様々な立場の人との交流を通して、「よりよい人間関係を築くコミュニケーション 力」を育むテーマ選択制交流学習プログラム	小	総合・特別活動	中村 昌子 (附属大泉小学校)
207	体験	体験活動における多様な人々との出会いや主体的な情報収集・活用を通して、自己 意識や価値観の形成・変容をめざす総合的道徳教育プログラム ～国際バカロ レア MYP 認定校、ユネスコスクールの特色を生かす学びのあり方～	中・高	総合・特活・道徳	秋山 寿彦 (附属国際中等教育学校)	
N棟1階	101	体験	サウンドピンポン学習による障害者のインペアメント (身体の物理的な状態として の障害) に着目したスポーツからディスアビリティ (可能性剥奪) に着目して のスポーツ体験学習プログラム	小・中・高	体育・特別活動	渡辺 雅之 (健康科学)
	102	教材	道徳性の育成を目指す「かかわり」を大切にされた体育教材 ～構成主義に基づく「体づくり運動」の授業づくり～	小・中	体育・保健体育	鈴木 直樹 (体育科教育学)
	103	教材	日本の音環境と伝統音楽	小・中	音楽	遠藤 徹 (音楽)
	104	体験	思いやりの気持ちと命あるものを大切にする心情をはぐくむための 「小動物飼育サポートネットワーク」および学習プログラムの開発	小	生活・総合・特活	関田 義博 (附属小金井小学校)
	105	教材	小学校理科生物分野における「生命尊重の態度」を育む教材	小	理科	中西 史 (理科教育学)
	106	体験	天空と星雲の時間と私たちの時感	小・中	理科・美術・総合・ 図画工作・特活	鉄矢 悦朗 (美術)
	107	教材	価値葛藤型道徳教育教材の開発	小・中・高	道徳	浅沼 茂 (学校教育学)

28のワーキングはこんな発表をします

N棟4階

N401

教材

ICTを活用した既存の情報モラル教育教材の問題点である、(1)様々な活用法への適応が不十分、(2)すぐに風化してしまう、(3)教材内容の再利用が困難、を解決する新しい教材構成手法と教材生成システムを開発しました。

情報モラル

N402

教材

琉球・奄美では独特な伝統文化が生み出されてきました。その自然と生活との関わりを教材化し、生物とは何かを問う授業実践を行いました。また、武蔵野の湧水を題材にして、共有財産としての自然の大切さを考える実践も行いました。

生命尊重、環境保全、公共の精神

N403

体験

本ワーキングは、小金井特別支援学校の生徒の皆さんが、本学の環境教育研究センターで農作業を通じた自然体験活動を行うものです。自然や仲間と触れあうことで生き生きとする生徒たちの姿を是非見たいらして下さい。

自然理解・生命尊重、人間関係、生産活動・キャリア

N404

教材

小学校高学年から高校生を対象とした、映像教材を2本開発しました。児童生徒が、公德心や友人関係の葛藤について考えるための教材で、ショートフィルムのような雰囲気教材にしました。

人間関係・公德心、思春期の葛藤

N棟3階

N301

体験

「心の芯」を耕す環境教育としての本企画に参加する先生が、それぞれの現場で、それぞれの発想で取り組みを立案し、それぞれの活動を進め、それぞれ振り返ることを大切に、「それぞれ」を交流する共同研究会を継続してきました。

環境保全、生命尊重、集団宿泊・自然体験

N302

教材

地球温暖化、放射線汚染などの問題に立ち向かうには思いやりの心を持って持続可能な社会にしていける必要があります。実感がわきにくいこれらの諸問題を科学計測を通して、肌で感じられる教材を開発しました。

科学的精神、環境保全

N棟2階

N201

教材

本教材は、諸外国のことばや文化に関心を持ち、尊重する心を育てることをねらいとし、本学で日本語・日本文化を学ぶ外国人留学生が出身地域や自身の生活について子どもたちに直接紹介する形式をとっています。

異文化理解

N202

教材

道徳教育と社会科教育の交差するところに、社会科発足以来不変の目標観である「公正な社会的判断力の育成」があります。不思議なことにこれについての研究はありません。このテーマに先駆的かつ実践的に取り組みました。

多文化理解、規範意識、公共の精神

N203

教材

唐の詩人として、最も日本人に親しまれてきた白居易の作品を素材とし、彼の「自然を愛する生活」を紹介するためのweb公開用の教材を作成しました。茶、松、竹、柳、雪、月、梅、桃、菊のテーマに分けています。

感動する心、伝統文化理解

N204

教材

妊娠・出産・乳児まで成長する子どもと家族の様子を記録した視聴覚教材を作成しました。また、その教材を活用した授業を小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で実践し、よりよい教材へ改善を行いました。

生命尊重

N棟1階

N101

体験

サウンドピンポンとは、アイマスクをして金属玉の入った卓球ボールを台上で転がしながら打ち合うもので、誰でも即プレイヤーになれます。が、ボールからの音が聞こえるでしょうか？そんな体験から「障がい」について考えます。

人間関係、障害者理解

N102

教材

本ワーキングでは、「体づくり運動」の授業を通して道徳性を育む教材について研究してきました。フォーラムでは、授業づくりの考え方と実際に具体的に紹介するとともに、作成した教材の内容と活用方法について提案します。

心身の健康、人間関係

N103

教材

日本の伝統音楽は自然の生み出す音環境の中で形成されてきました。本研究は伝統音楽へのアプローチとして、現代に残る古来の音を意識的に聴き分け、伝統的な表現との連続性を実感できる教材開発を企図しました。

伝統文化理解



各PR文の後ろに、各ワーキングが開発する教材や体験学習プログラムの教育課題や特色を表すキーワードを付しました。

N404

教材

小学5年生が友達との出来事を振り返りました。すると、楽しかったことや嬉しかったことがばかりでなく、辛かったことや悩んだことも思い出すことができました。そこで、そのときの心境を思い出しながら絵本を作りました。

人間関係、生き方

N405

教材

私たちのプロジェクトは、地理的見方・考え方を活用した中学校・道德教育の教材開発を目標に、伝統産業や景観、身近な環境を素材とするモジュール教材を作成しました。WEB上でも公開していますので、どうぞご活用ください。

公共の精神、伝統文化理解

N407

教材

子どもの道徳的社会化過程における親の影響について、親が学ぶことができる学習材を学生が作成することを通して、家庭や地域との連携を通して行う総合的な道德教育に関する学生の学びを明らかにします。

人間関係

N411

体験

本プロジェクトで行われているアウトリーチ活動は、学校向けに「伝統音楽教育・鑑賞事業」です。このことを通して、芸術文化が社会に果たす役割を広げ、わが国の芸術文化をより豊かなものに発展させることを目指しています。

伝統文化理解、国際理解

N303

教材

小・中・高を見通して、伝統的な言語文化である古典の中に見られる道徳的な価値を再評価する試みです。人の語る話を聞く力に基礎を置き、書かれた話を読んで考えることによって、年齢に応じた道徳心を養わせたいと考えています。

伝統文化理解

N304

教材

ナチスのユダヤ人迫害により、短い生涯を終えた少女アンネ・フランク。歴史を越えてなお瑞々しい彼女の問いかけを元に、多文化、多様化する現代社会に生きる中学生・高校生の道徳的な資質を養うための教材を開発しました。

異文化理解、他者理解・寛容、自立性・人権

N305

体験

本ワーキングでは、小学生の宿泊型体験活動による道徳性の発達について、本学附属竹早小学校の異年齢の縦割り班を中心とした日光林間学校に焦点をあて、様々な効果測定をおこない、学年などの効果を明らかにしています。

人間関係、他者理解

N205

教材

道徳の時間には魅力ある多彩な資料が必要です。私たちは、子どもが自己の生き方について考えを深めるための小・中学校用資料を、様々な形で開発してきました。それらの実際とその生かし方などを見ていただけます。

自己の生き方

N206

体験

世界と共に歩み、よりよい未来を目指す日本人を育てることが今、求められています。そこで本プロジェクトでは、世界に目を向ける「国際理解」そして、その土台となる「郷土や我が国を愛する心」の育成を提案します。

人間関係、多文化理解

N206

体験

外国人や高齢者、幼児など様々な立場の人たちと交流相手に設定し、その交流先に興味を持った4・5年生が集まり、自分たちでつくった問題をチームになって解決していくゼミ方式の学習の開発・実践を紹介します。

人間関係、多文化理解

N207

体験

中等教育学校の特色ある学習領域である「国際教養」において、「持続可能な発展」・「よき市民（国際中等生）となるためのルールとマナー」・「日本を伝える～海外ワークキャンプ」で取り組んだ体験活動を中心に報告します。

環境・キャリア、多文化理解

N104

体験

私たちの取り組みは、小動物飼育を通じて「生命尊重」を中心とした道徳的価値を育むための教育プログラムを開発することです。教師、獣医師、保護者が連携・協力して、その開発と教育活動の実践に取り組まれました。

生命尊重、役割と責任
思いやり・親切

N105

教材

生物について深く理解する中で、児童から思わず「すごい!」「頑張れ!」などの声が出るような実験教材や、実験・観察で生き物に負担をかける場面を逆手にとった指導法の開発を中心に取り組んできました。

生命尊重、対象理解

N106

体験

日常と、地球・宇宙の「時間」は大きく違い、その実感は子どもに「自然や崇高なもののかかわり」の感覚を生じさせる。発表では、朝野浩行先生による石を使った体験学習題材に含まれる道徳的視点を体験していただけます。

感性を育む活動

N107

教材

価値葛藤型の道德教育は、どのような価値が対立しているかに気づかせ、価値判断を迫るという参加型の学習実践です。価値葛藤教材は、どのような時代背景においても一貫した価値判断を求めます。

価値葛藤、生き方と個性化



2月17日(金)フォーラムの流れ

10:00 道徳教育に関する教員調査結果報告会 (本学N410教室)

コーディネーター：永田 繁雄 (推進本部副部長)

● 挨拶・調査の趣旨

● 調査報告 藤澤 文 (推進本部特任講師)

● 協議

(論点提示・講評)..... 押谷 由夫 (昭和女子大学教授)

全国の小・中学校の教員約3500人への調査から明らかになった、現在の道徳教育や道徳の時間の課題、大学の授業への期待などを報告し、皆さんで今後の方向などを議論します。

12:00 結果報告会終了

13:00 体験学習連携研究協力校成果発表会 (本学N410教室)

コーディネーター：松尾 直博 (推進本部副部長)

13:00 ● 挨拶・趣旨説明

13:20 小学校3校の成果報告

13:20 小金井市立小金井第四小学校

13:45 小平市立花小金井小学校

14:10 国分寺市立第十小学校

本学と様々な形で連携を深めている小金井市、小平市、国分寺市の小・中学校それぞれ3校の体験学習連携研究協力校より、心を育てる体験活動について2年間の成果を発表していただきます。

14:35 ● 休憩

14:45 中学校3校の成果報告

14:45 小金井市立小金井第二中学校

15:10 小平市立花小金井南中学校

15:35 国分寺市立第三中学校

16:00 ● 全体討議・情報交換

16:30 ● 成果発表会終了

17:00 総合的道徳教育プログラム開発協議会

地域の代表者や関係者と、本プログラムの本部委員が一堂に会して、これからの道徳教育やそのための連携の有り方などについて協議します。

小学校3校

小金井市立小金井第四小学校

互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う児童の育成

主に林間学校における自然体験活動を通じて、自然への意識、仲間との絆、自尊心を高めるプログラムについて発表します。活動についての事前学習や、振り返りの効果についての研究に取り組んできました。

小平市立花小金井小学校

自然に親しみ、人とのかかわりの中で豊かな心を育む児童の育成

「美しいものや自然に感動する心や柔らかな感性」（環境教育）また、「他者との共生や異なるものへの寛容」（福祉教育）を軸とした豊かな心を育てる体験学習プログラムについて発表します。研究授業を積み重ね、質の高い単元開発も行ってきました。

国分寺市立第十小学校

共に生き、自らかかわる子の育成～体験活動と道徳の時間を関連づけて～

生命あるものと「共に生き」、周りの自然環境や生活環境などに「自らかかわる」子どもを育てる体験活動プログラムについて発表します。体験活動と道徳の時間を組み合わせたプログラム開発にも焦点を当ててきました。

中学校3校

小金井市立小金井第二中学校

自然を大切にし、集団や社会とよりよい関係を作り上げるために、進んで行動できる生徒の育成

ごみの徹底分別、屋上緑化実験を中心とした環境教育やボランティア活動を通じて社会貢献の精神を育成する体験活動プログラムについて発表します。合唱への取り組みやあいさつを通して、他者との関係で進んで心を開く生徒の育成も目指してきました。

小平市立花小金井南中学校

キャリア教育における道徳性の向上

キャリア教育の視点から育てることができる道徳性（礼儀、責任感、自主性、協調性、基本的な生活習慣など）に関するプログラムを発表します。第2学年が実施する職場体験活動について焦点を当て、生徒の変化について分析をしてきました。

国分寺市立第三中学校

直接体験を深化させ、豊かな心の成長を図る工夫

体育祭の応援活動と保育体験に焦点を当て、生徒の直接体験を豊かな心の成長につなげるプログラムについて発表します。体験と道徳の時間の授業との関連や、生徒の心の変化を質的、量的に把握する研究も行ってきました。

参加申し込みについて

本フォーラムは事前の申し込みは不要です。
参加ご希望の方は、当日、直接会場にお越しください。
関心のあるプログラムだけの参加も可能です。

本件連絡先

東京学芸大学 総合的道德教育プログラム推進本部事務局（学務部 学務課 内）

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

【TEL】 042-329-7190

【FAX】 042-329-7183

【E-mail】 kokoro@u-gakugei.ac.jp

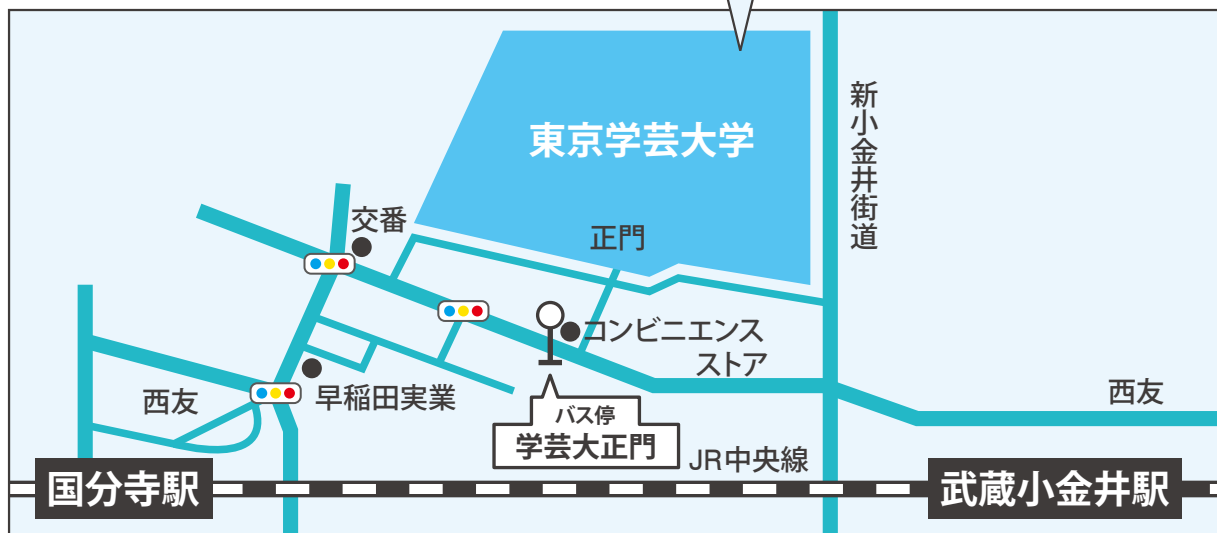
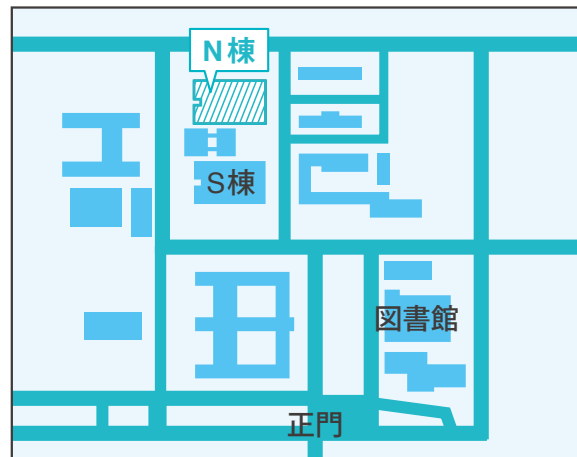


会場案内図

●東京学芸大学までのアクセス

- ▶ JR中央線 武蔵小金井駅・北口より
【京王バス】〔5番バス停〕「小平団地」行に乗車、
約10分。「学芸大正門」下車、徒歩約3分
【徒歩】約25分
- ▶ JR中央線 国分寺駅より
【徒歩】約20分（国分寺駅北口 → 早稲田実業学校
→ 本多交番を右折）

東京学芸大学構内マップ▶



※本学のホームページ「学芸の推進活動」の中の「総合的道德教育プログラム」にも開催案内を掲載しています。
【URL】 www.u-gakugei.ac.jp/~kokoro/